2023年度 第3四半期決算 業績予想



2024年1月31日 日本軽金属ホールディングス株式会社



目次

1. 2023年度 第3四半期決算

2. 2023年度 通期業績予想

第3四半期決算 - 前年同期比

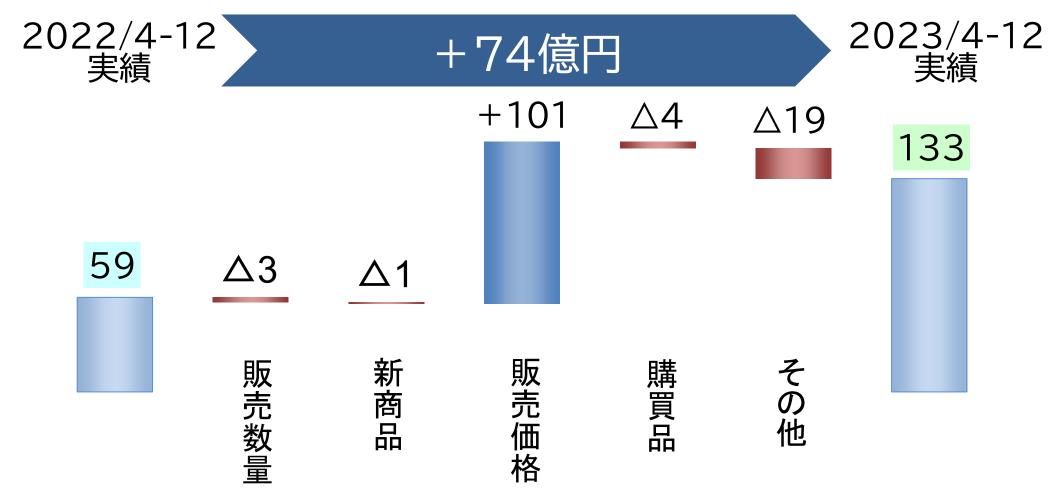
増収・増益 半導体関連の需要調整、中国での自動車関連向け減速等続いている ものの、パネルシステムの好調継続に加え、トラック架装関連・国内自動車 向けで回復継続

				2022/4-12 実績	2023/4-12 実績	増減 前期比
売		_	高	3,851	3,877	+26 (+0.7%)
営	業	利	益	51	127	+ 76 (+149.6%)
経	常	利	益	59	133	+ 74 (+124.8%)
	社株主 半 期	に帰属 純 利		40	55	+15 (+35.6%)

(億円)

経常利益変化要因 - 前年同期比

増収・増益 販売価格改定の効果がアルミナ・化成品部門、トラック架装事業、 箔、粉末製品セグメントなどで拡大



Copyright Nippon Light Metal Holdings Co., Ltd All rights Reserved

セグメント情報 – 前年同期比

板、押出製品:半導体製造装置向けの販売低迷継続、中国での自動車関連向け減速 加工製品、関連事業:クリーンルーム向けパネルシステム好調、トラック架装事業で収益改善

(億円)

		売上高		営業利益			
	2022/4-12 実績	2023/4-12 実績	増減	2022/4-12 実績	2023/4-12 実績	増減	
がまけ・化成品、 地 金	1,178	1,145	∆33 (∆2.8%)	85	88	+3 (+3.4%)	
板、押出製品	822	723	∆99 (∆12.0%)	△2	$\triangle 7$	△5 (△248.1%)	
加工製品、関連事業	1,084	1,213	+129 (+11.9%)	△18	21	+39 (—)	
箔、粉末製品	767	796	+29 (+3.7%)	14	54	+ 40 (+294.1%)	
管理・共通	_	_	_	△28	△29	△1	
合 計	3,851	3,877	+26 (+0.7%)	51	127	+ 76 (+149.6%)	

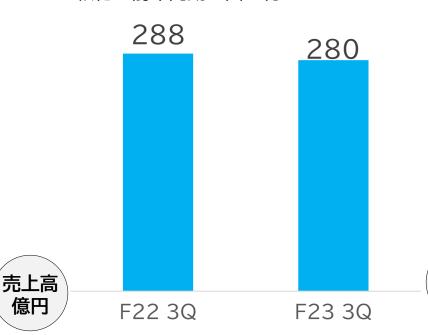
2023年度 第3四半期決算 アルミナ・化成品、地金

アルミナ・化成品は販売減も販価改定効果により、二次合金は国内自動車回復による販売増 と米国・タイ好調継続により、前年同期を上回る利益に



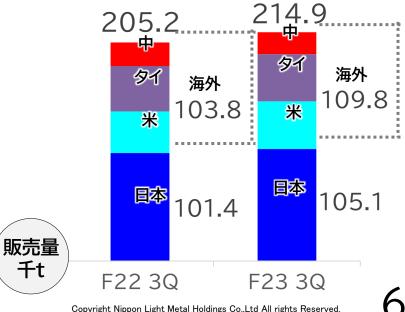
アルミナ・化成品(日軽金・化成品)

- 耐火物・セラミックス向けアルミナ製品の 販売数量減少で前年同期下回る売上高
- 販売価格改定効果に加え、原燃料価格高騰 の軟化で前年同期上回る利益に



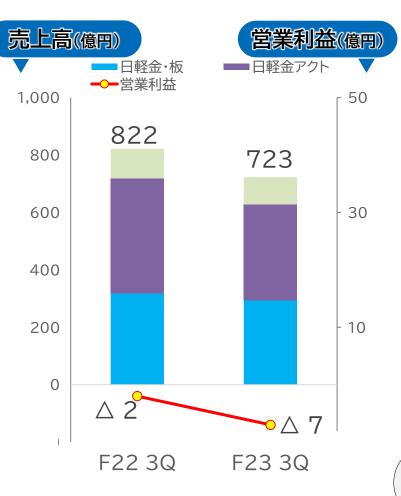
二次合金(日軽エムシーアルミ)

- 自動車生産回復で販売増
- 米国・タイ 販売好調 継続
- アルミ地金市況反映の販価下落影響もあり減 収も、前年同期を上回る利益に



2023年度 第3四半期決算 板、押出製品

トラック架装向け・国内自動車関連向けは販売回復が継続も、半導体製造装置向けの販売 低迷継続と中国での自動車関連向け減速等で減益



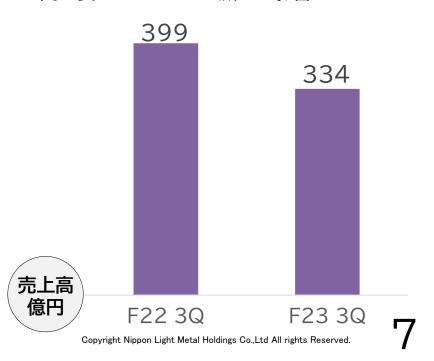
日軽金•板

- 半導体製造装置向け厚板の販売低迷継続
- 販売価格改定の効果発現も、減販に加え アルミ地金市況連動の販価下落影響もあり減益

319 294 売上高 億円 F22 3Q F23 3Q

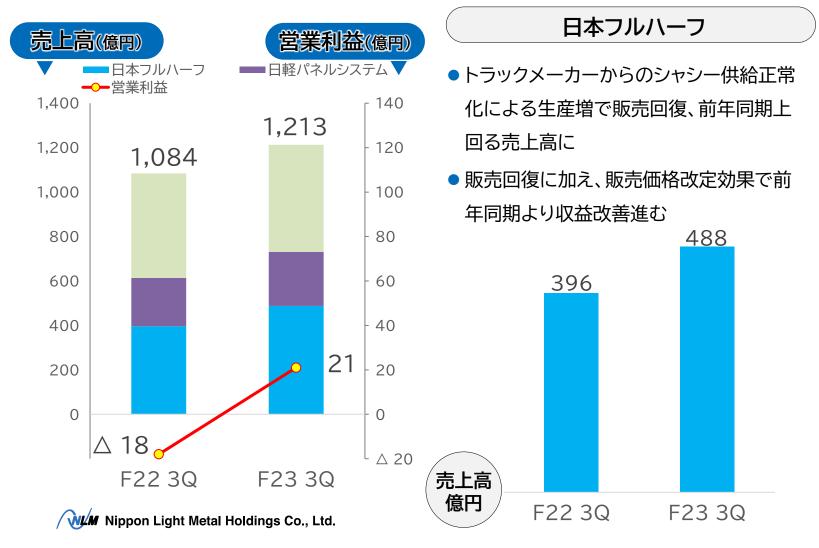
押出(日軽金アクト・日軽金ALMO)

- トラック架装・国内自動車関連の回復継続も、半導体製造装置向け・中国自動車関連が減販
- 減販に加え、米国新工場の量産操業安定化に時間を要していることも減益に影響



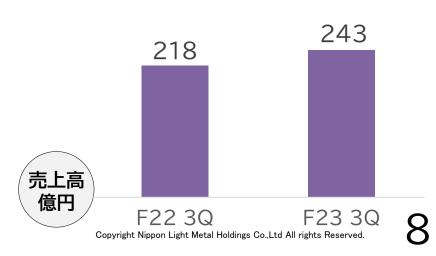
2023年度 第3四半期決算 加工製品、関連事業

トラック架装はシャシー供給正常化による販売回復と販価改定効果で収益改善進むパネルシステムは半導体関連メーカー向けクリーンルーム分野をはじめ、好調継続



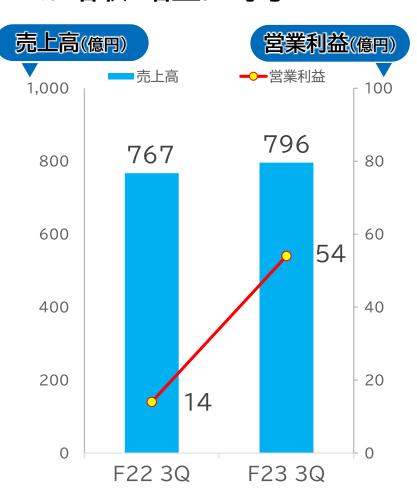
日軽パネルシステム

- 冷凍・冷蔵分野は食品工場向け・低温流通倉 庫向けを中心に大型物件が好調に推移
- クリーンルーム分野は半導体関連メーカー向けの旺盛な需要に支えられ販売増加



箔、粉末製品

日用品部門での販売増、自動車生産回復による関連商品の販売確保に加え、販価改定効果 が増収・増益に寄与



箔部門

- リチウムイオン電池外装用箔は前年同期並の販売確保
- 医薬包材向け加工箔は販売価格改定による増収効果で前年同期上回る売上高に

パウダー・ペースト部門

- 電子材アルミパウダー・窒化アルミは半導体関連需要の調整も前年同期並の販売確保
- 自動車塗料向けペーストは海外向けを中心に販売増

日用品部門

コンシューマー向けのハウスケア用品の販売増とアルミホイル販売価格改定効果、パッケージ用品の冷凍食品向け販売増と販価改定効果で、前年同期上回る

目次

1. 2023年度 第3四半期決算

2. 2023年度 通期業績予想

2023年度 通期業績予想

通期業績予想 - 前期比

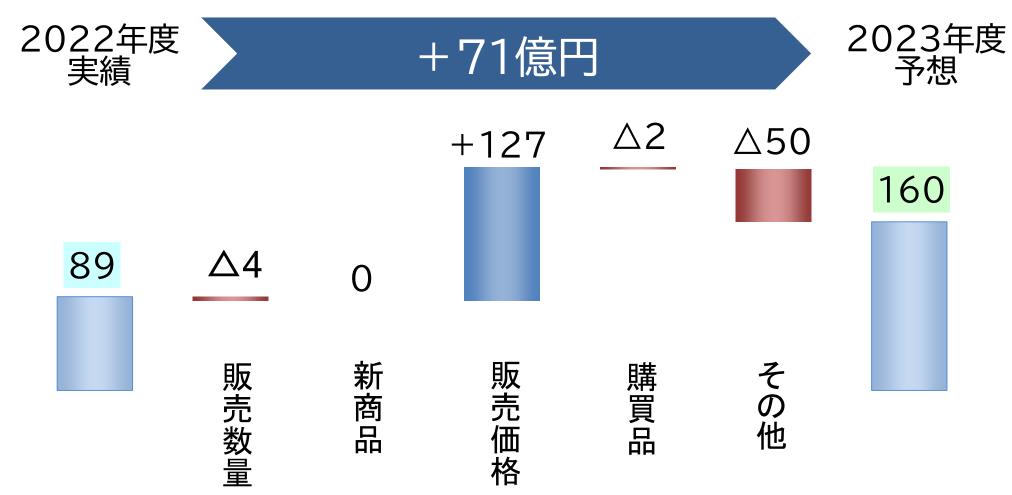
パネルシステムの好調、トラック架装関連の回復基調は継続も、半導体関連の回復見通しや中国での自動車関連の動向などで先行きの不透明感が継続、2023/5/15公表予想を据え置き (億円)

				2022年度 実績	2023年度 予想	増減
売	上	_	高	5,170	5,500	+330 (+6.4%)
営	業	利	益	75	170	+95 (+125.5%)
経	常	利	益	89	160	+ 71 (+80.6%)
	社株主 期 糾		する 益	72	75	+3 (+4.1%)
1株	当たり	ノ配当	台金	50円	50円	±Ο

2023年度 通期業績予想

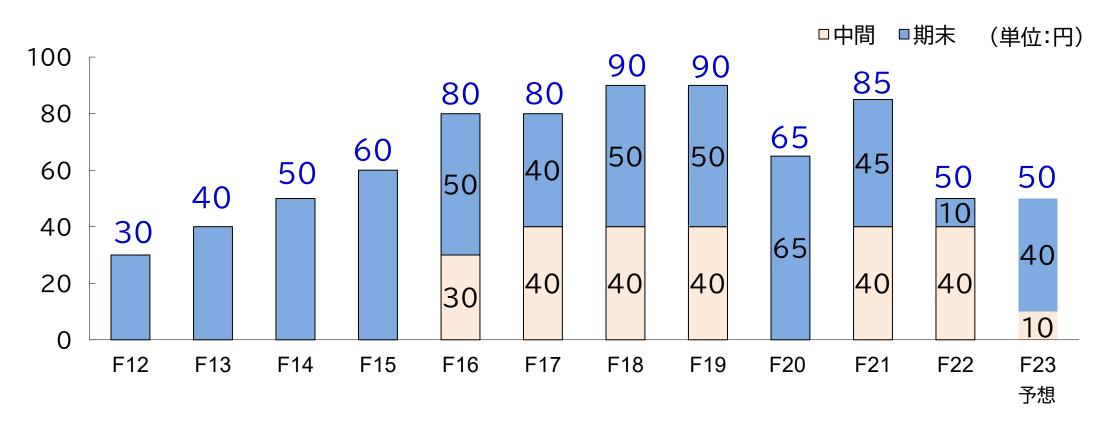
経常利益変化要因 - 前年同期比

増収・増益 第4四半期も引き続き、トラック架装事業などで販売価格改定効果が拡大



2023年度 通期業績予想 1株当たり配当金

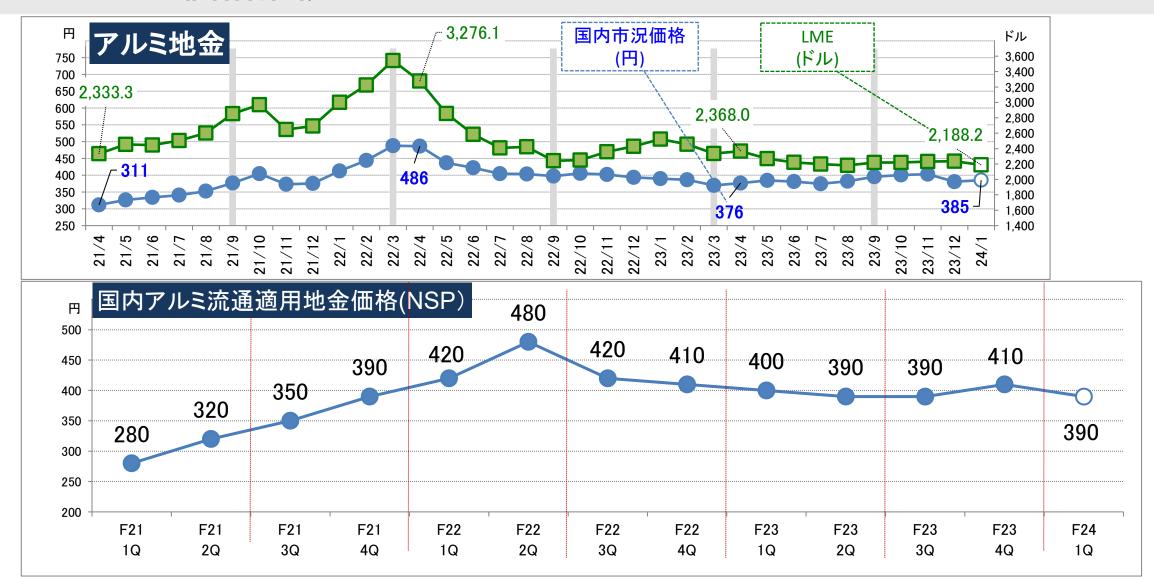
2023/5/15公表予想を据え置き



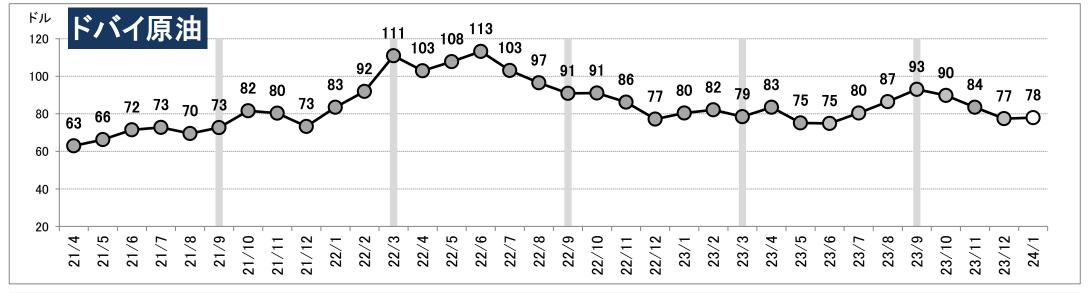
当社は2020年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しておりますので、2019年度(2020年3月期) 以前の1株当たり配当額については、当該株式併合の影響を考慮した金額としております。

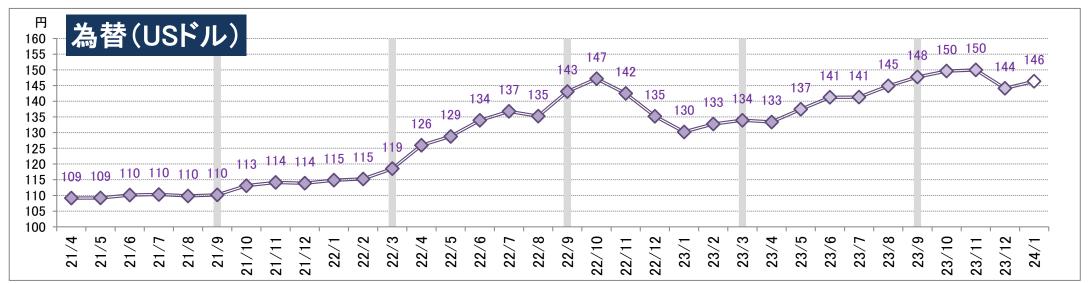


アルミ地金価格推移



原油価格·為替推移

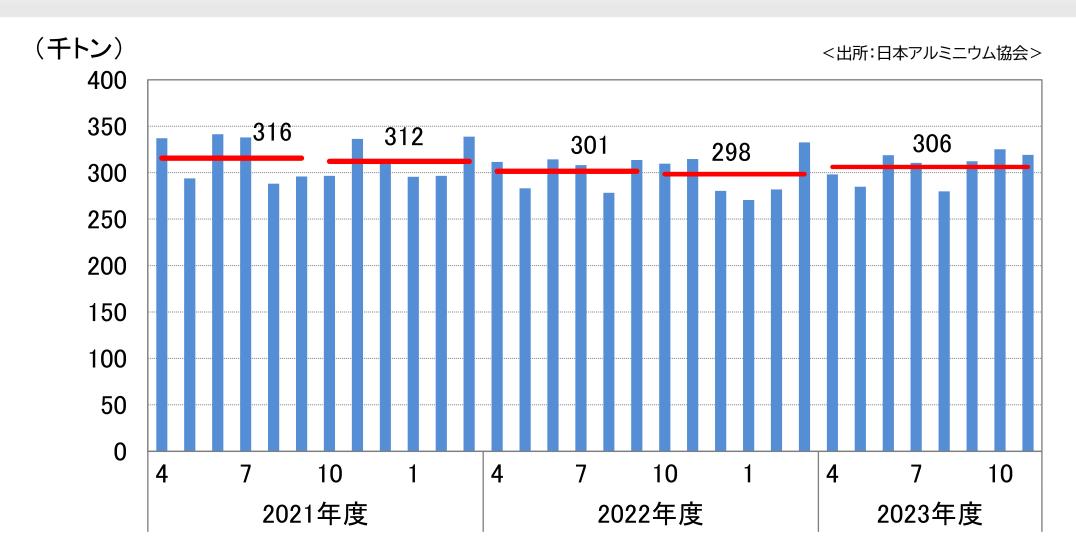




諸元と感応度

	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 予想	23/4-12 実績	経常利益への 感応度
アルミ地金 (円/kg)	378	408	400	386	10円/kg上昇した場合
為替 (円/米ドル)	112	135	140	143	10円円高となった場合 △5億円/年
ドバイ原油 ^(米ドル/BBL)	78	93	95	83	10ドル/BBL上昇した場合 △6億円/年

国内アルミ製品総需要の推移



製品販売量

(千t)

	2022/4-12 実績	2023/4-12 実績	増減
日軽エムシーアルミ(二次合金)	205.2	214.9	+9.7 (+5%)
国内	101.4	105.1	+3.7 (+4%)
海外	103.8	109.8	+6.0 (+6%)
日軽金・板(板製品)	46.8	44.9	∆1.9 (∆4%)
日軽金アクト(押出製品)*	25.2	24.8	— (—)

^{*}日軽金アクトの自動車関連は3Qより日軽金ALMOへ移管のため、3Qより除外

主要会社の業績

(億円)

	2022/4-12 実績			2023/4-12 実績		
	売上高	営業利益	経常利益	売上高	営業利益	経常利益
日本軽金属(単体) *	1,178	35	78	1,066	26	62
東洋アルミニウム(連結)	770	9	18	798	53	58
日軽エムシーアルミ(連結)	784	16	18	760	19	23
日本フルハーフ(連結)	396	∆38	∆38	488	△11	△11
日軽金アクト(連結)*	399	△10	Δ6	334	△5	△4
日軽パネルシステム(連結)	218	23	24	243	33	33
日軽金ALMO(3Qのみ*)	—	_	_	83	Δ2	△2

通期セグメント予想 – 前期比

(億円)

						\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
		売上高		営業利益			
	2022年度 実績	2023年度 予想	増減	2022年度 実績	2023年度 予想	増減	
7ルミナ・化 成 品 、 地 金	1,560	1,580	+20 (+1.3%)	102	100	∆2 (∆2.0%)	
板、押出製品	1,074	1,075	+1 (+0.1%)	Δ6	△5	+1 (+7.6%)	
加工製品、関連事業	1,532	1,805	+273 (+17.8%)	1	60	+59 (—)	
箔、粉末製品	1,004	1,040	+36 (+3.6%)	15	55	+ 40 (+262.3%)	
管理・共通	_	_	_	∆37	△40	Δ3	
合 計	5,170	5,500	+330 (+6.4%)	75	170	+95 (+125.5%)	

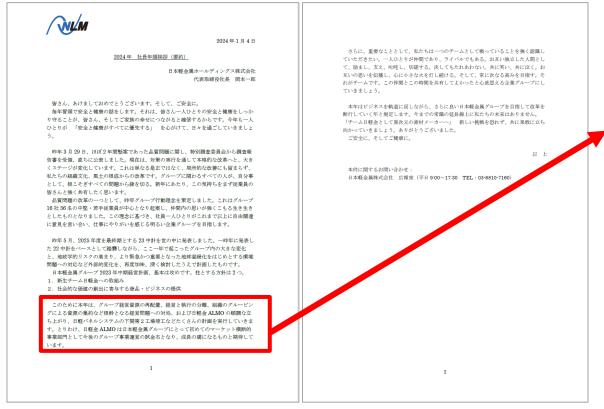
販売価格改定実施状況

日軽金・板で加工賃の改定を実施(2024年2月~)

セグメント		価格改定対象	改定内容	開始時期	
箔、粉末製品	東洋アルミニウム	パウダー・ペースト全 品種	全品種5% 値上げ	2023年 1月	
板、押出製品	日軽金·板	全てのアルミニウム 板製品	原燃料 サーチャージ	2023年 1月	押出製品も一部で実施
加工製品、 関連事業	日本フルハーフ	バンボデー、トレーラ 等を含む全商品	現行価格の10~ 15%値上げ	2023年 3月	
箔、粉末製品	東洋アルミニウム	樹脂・紙原料の家庭 用商品	20%以上	2023年 7月	
板、押出製品	日軽金·板	全てのアルミニウム 板製品	加工賃(ロール マージン価格)を 20%程度値上げ	2024年 2月	押出製品も同程度実施

当社社長 年頭挨拶(抜粋) 2024年1月4日

23中計 2年目に向けての意思を表明



本年は、グループ経営資源の再配置、 経営と執行の分離、組織のグルーピングによる 資源の集約など根幹となる経営問題への対処、 および日軽金ALMOの順調な立ち上がり、 日軽パネルシステムの下関第2工場竣工など たくさんの計画を実行していきます。 とりわけ、日軽金ALMOは日本軽金属グループ にとって初めてのマーケット横断的事業部門 として今後のグループ事業運営の試金石となり、 成長の礎になるものと期待しています。

当社HP掲載URL

https://www.nikkeikinholdings.co.jp/news/news/p2024010401hd.html



本資料についての注意事項

- 1. 本資料は2024年3月期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
- 2. 本資料のなかで記述しております将来の動向や業績等に関する見通しは、歴史的事実でないためリスクと不確定な要素を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、予測しえない 経済状況の変化などさまざまな要因により見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。実際の業績に影響を与えうる重要な要因には、当社グループを取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの 提供する製品やサービス等に対する需要動向による相対的競争力の変化などがあります。なお、業績に影響を与えうる重要な要因は、これらに限定されるものではありません。
- 3. 本資料の中で記述しております事項は、資料作成時点における当社の見解であり、今後予告なく変更される場合があります。
- 4. 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。